



株式会社 アスリートクラブ熊本
 〒862-0954 熊本市中央区神水2丁目10-10
 Tel:096-283-1200 Fax:096-283-1300



ロアッソ熊本 2018 活動報告

ROASSO KUMAMOTO 2018 ACTIVITY REPORT

ごあいさつ

2018シーズン、応援頂きました皆様へ

謹啓 皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また平素より弊クラブの活動に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2018年は、Jリーグ参入から11年目を迎え、次なるステップへ向かう第一歩としてスローガンを「飛翔」とし、皆様と共に進んでいく年としました。

チームは、2017シーズン降格圏の21位で終了したことを受け、チームを一新し立て直しを図るため新監督に渋谷洋樹氏を招聘しました。開幕後は10試合で5勝2分3敗、プレーオフ圏内の6位と、県民の皆様に大きな飛躍を期待させるスタートを切りましたが、5月下旬より13試合勝利がなく低迷しました。攻撃面では得点を取れるチームとなりましたが、守備面が安定せず、失点が多くチームの不振が続きました。夏に選手を補強し立て直しを図りましたが、その後も成績は振るわず最終的には昨シーズンと変わらぬ降格圏の21位で終了し、2019シーズンのJ3降格が決定いたしました。

2018シーズンもファン・サポーター様をはじめ、スポンサー様、ホームタウン関連の皆様、ロアッソ熊本に関わる全ての皆様方に大きなご支援、ご声援をいただいたにもかかわらず、ご期待を大きく裏切る結果となってしまったことを、深くお詫び申し上げます。

ホームタウン活動においては、「火の国もりあげタイ！」プロジェクトを中心に「日本一地域に根ざしたクラブ」を目指して活動を続け、地震被害の影響を受けている地域や県内の子ども達を試合に招待したほか、県下各地域でサッカー教室を開催するなど積極的な地域貢献活動を展開してまいりました。

2019シーズンは、J3リーグを戦うことになりましたが、既にその戦いは始まっていると認識しております。速やかに渋谷洋樹監督の続投を決定し、厳しい戦いを勝ち抜くべく、チーム編成を含め万全の準備に取り組んでおります。まずは、必ずや1年でJ2復帰を達成できるように、クラブ一丸となって邁進いたします。

今後も、「県民に元気を」「子ども達に夢を」「熊本に活力を」のクラブ理念はぶれることなく追求し、引き続き熊本地震からの復興支援を含めた地域貢献活動を積極的に展開していく所存です。

今後とも何とぞ変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

謹白

株式会社 アスリートクラブ熊本
代表取締役社長 永田 求



概要

会社名 株式会社 アスリートクラブ熊本

(2018年12月1日現在)

■設立/平成16年12月21日 ■資本金/3億4,500万円
■所在地/〒862-0954 熊本県熊本市中央区神水2丁目10-10 Tel:096-283-1200 Fax:096-283-1300

役員

(2018年12月1日現在)

代表取締役社長	永田 求
専務取締役	藏原 信博
取締役ゼネラルマネージャー	織田 秀和
取締役(非常勤)	池永 成正 (アデル・カーズ株式会社 代表取締役社長)
取締役(非常勤)	小杉 康之 (株式会社コスギ不動産 代表取締役会長)
取締役(非常勤)	坂本 正 (ロアッソ熊本持株会 理事長)
取締役(非常勤)	早川 典宏 (合資会社ハヤカワ運動具店 代表)
取締役(非常勤)	平井 謙丞 (株式会社ヒライ 専務取締役)
取締役(非常勤)	井上誠一郎 (株式会社熊本県民テレビ 専務取締役)
取締役(非常勤)	田代 桂一 (医療法人木星会山鹿温泉リハビリテーション病院 理事長)
監査役(非常勤)	宮田 房之 (宮田総合法律事務所 弁護士)
会計参与(非常勤)	西本 寛 (西本会計事務所 税理士)
顧問	前田 浩文 (株式会社アスリートクラブ熊本 元代表取締役)
相談役	田川 憲生 (熊本商工会議所会頭・ホテル日航熊本 代表取締役会長・熊本県サッカー協会会長)
相談役	北岡 長生 (熊本県サッカー協会副会長)
司法書士	藤山 直秀 (藤山司法書士事務所)
弁護士	森枝 大輔 (宮田総合法律事務所)

チーム名 ロアッソ熊本

熊本を象徴する「阿蘇山」や「火の国熊本」から、熊本の燃える情熱を表す赤のイタリア語「ロッソ」と、イタリア語で「アッソ」=「エース」「唯一の」を含んだ造語で、Jリーグでもエースとなりうるナンバー1のチームを目指す決意をチーム名に込めました。

チームカラー 赤

熊本の燃える情熱を表すとともに、勝利への意欲を表しています。

ホームスタジアム えがお健康スタジアム

最新の設備を備え、国際的規模のスポーツイベントにも対応する第1種公認陸上競技場。平成29年2月1日より、株式会社えがお様がネーミングライツを取得され、愛称が「えがお健康スタジアム」となりました。
観客席数:約32,000席 身障者席150席

クラブ理念 「県民に元気を」「子ども達に夢を」「熊本に活力を」

地域に根ざしたクラブとして、地域に生活する人々と共に発展し、子ども達に夢と希望を、地域に誇りと感動を覚えてもらう事に努め、クラブを軸としたコミュニティーを築き、世界に開かれた豊かなスポーツ文化の創造に貢献します。

活動方針 日本一地域に根ざしたクラブづくり

「勝負へのこだわり」による夢や希望を!!
「日本一のホームタウン活動」による熊本へ愛を!!

公式サイト

ホームページ <http://roasso-k.com> Twitter @roassoofficial Facebook @roassokumamoto
Instagram roassokumamoto_official



クラブ理念・2018活動方針

クラブ理念

県民に**元気**を 子ども達に**夢**を 熊本に**活力**を



私たちのすべての活動は、クラブ理念に基づいています。

2018ロアッソ熊本活動方針



2018ロアッソ熊本クラブスローガン

ロアッソ熊本は2018年、Jリーグ参入から11年目を迎え、次なるステップを踏み、未来へ飛躍する第1歩として、皆様と共に前に進んでいきたいという意味を込めました。

ロアッソ熊本クラブスピリッツ

ロアッソ熊本では、2018年よりこれまでクラブスローガンとして使用してきました、「絆180万馬力」をクラブスピリッツといたしました。ロアッソ熊本はこれまでも、そしてこれからも、ファン・サポーターの皆様、株主・スポンサーの皆様、熊本県民、ロアッソ熊本に関わる全ての皆様と絆を結び、歩んでまいります。

絆 180万馬力



トップチーム・チーム成績



2018明治安田生命J2リーグ順位表

順位	チーム	勝点	試合	勝	分	敗	得点	失点	得失点差
1	松本山雅FC	77	42	21	14	7	54	34	+20
2	大分トリニータ	76	42	23	7	12	76	51	+25
3	横浜FC	76	42	21	13	8	63	44	+19
4	FC町田ゼルビア	76	42	21	13	8	62	44	+18
5	大宮アルディージャ	71	42	21	8	13	65	48	+17
6	東京ヴェルディ	71	42	19	14	9	56	41	+15
7	アビスパ福岡	70	42	19	13	10	58	42	+16
8	レノファ山口FC	61	42	16	13	13	63	64	-1
9	ヴァンフォーレ甲府	59	42	16	11	15	56	46	+10
10	水戸ホーリーホック	57	42	16	9	17	48	46	+2
11	徳島ヴォルティス	56	42	16	8	18	48	42	+6
12	モンテディオ山形	56	42	14	14	14	49	51	-2
13	ツエーゲン金沢	55	42	14	13	15	52	48	+4
14	ジェフユナイテッド千葉	55	42	16	7	19	72	72	0
15	ファジアーノ岡山	53	42	14	11	17	39	43	-4
16	アルビレックス新潟	53	42	15	8	19	48	56	-8
17	栃木SC	50	42	13	11	18	38	48	-10
18	愛媛FC	48	42	12	12	18	34	52	-18
19	京都サンガF.C.	43	42	12	7	23	40	58	-18
20	FC岐阜	42	42	11	9	22	44	62	-18
21	ロアッソ熊本	34	42	9	7	26	50	79	-29
22	カマタマーレ讃岐	31	42	7	10	25	28	72	-44

■自動昇格 ■プレーオフ進出 ■自動降格

個人記録

(リーグ戦)

最多得点
 11ゴール
 11 FW 皆川 佑介

最多アシスト
 12アシスト
 14 MF 田中 達也

最多出場時間
 42試合 3,677分
 14 MF 田中 達也

2018シーズン その他成績

第98回天皇杯
 全日本サッカー選手権大会
 2回戦 vs 松本山雅FC
 1-1 PK4-5●

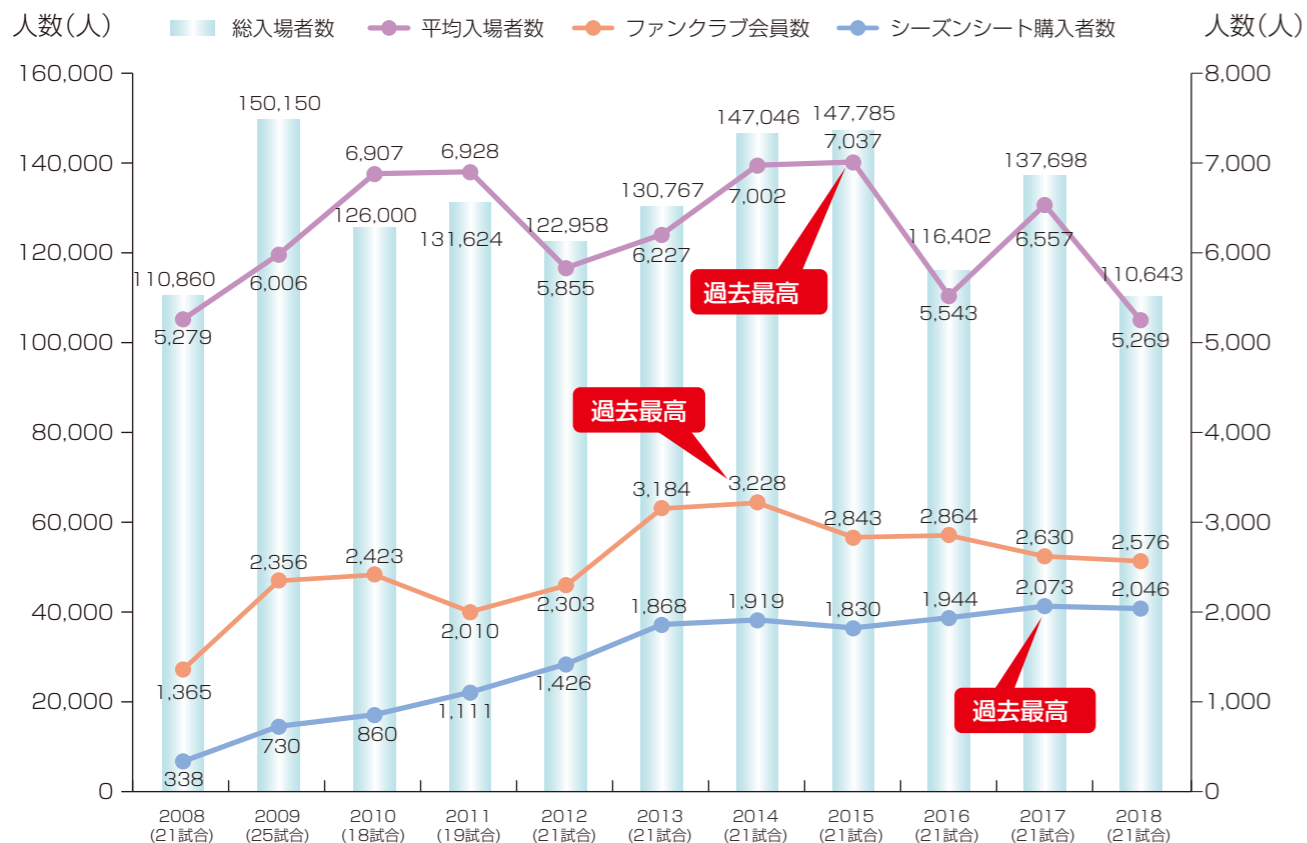


2018入場者数・シーズンシート・ファンクラブ

2018シーズンホームゲーム入場者数

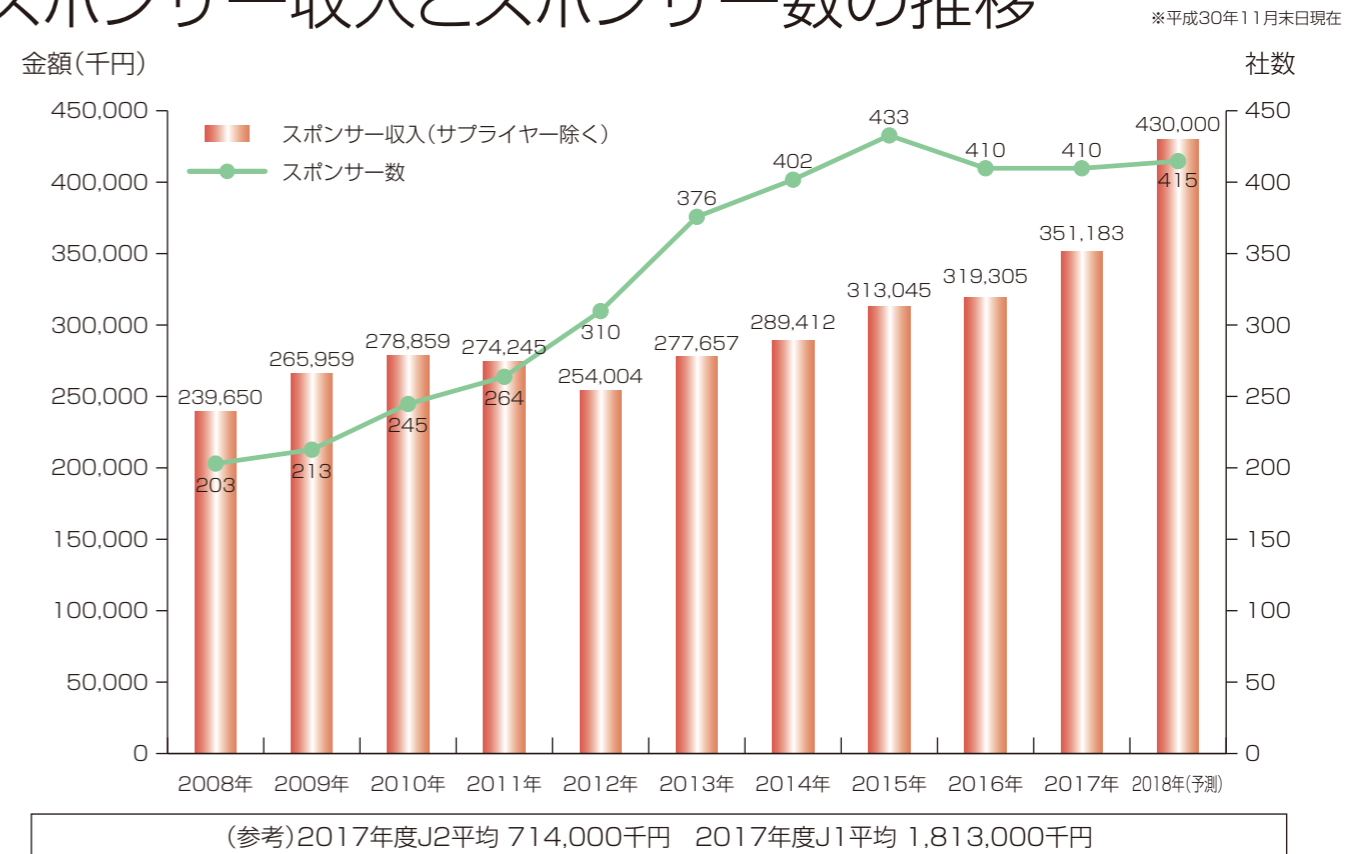
開催日	会場	対戦チーム	入場者数
3/4(日)	えがおスタ	徳島ヴォルティス	5,197人
3/11(日)	えがおスタ	モンテディオ山形	4,094人
3/21(水・祝)	えがおスタ	大宮アルディージャ	4,126人
4/1(日)	えがおスタ	アルビレックス新潟	4,691人
4/15(日)	えがおスタ	東京ヴェルディ	10,011人
5/3(木・祝)	えがおスタ	FC岐阜	5,247人
5/6(日)	えがおスタ	ヴァンフォーレ甲府	4,094人
5/20(日)	水前寺	水戸ホーリーホック	3,206人
6/10(日)	水前寺	アビスパ福岡	5,118人
6/16(土)	えがおスタ	カマタマーレ讃岐	3,740人
6/30(土)	えがおスタ	松本山雅FC	10,194人
7/16(月・祝)	えがおスタ	FC町田ゼルビア	3,571人
7/25(水)	えがおスタ	レノファ山口FC	3,576人
8/5(日)	えがおスタ	ツエーゲン金沢	3,894人
8/11(土・祝)	えがおスタ	横浜FC	5,423人
8/26(日)	えがおスタ	栃木SC	5,012人
9/8(土)	えがおスタ	大分トリニータ	10,226人
9/30(日)	えがおスタ	京都サンガF.C.	3,429人
10/7(日)	えがおスタ	ジェフユナイテッド千葉	3,936人
10/28(日)	えがおスタ	ファジアーノ岡山	6,211人
11/17(土)	えがおスタ	愛媛FC	5,647人
入場者数合計			110,643人
1試合平均入場者数			5,269人
J2平均入場者数			7,049人

ホームゲーム入場者数、ファンクラブ会員数 およびシーズンシート購入者数の推移

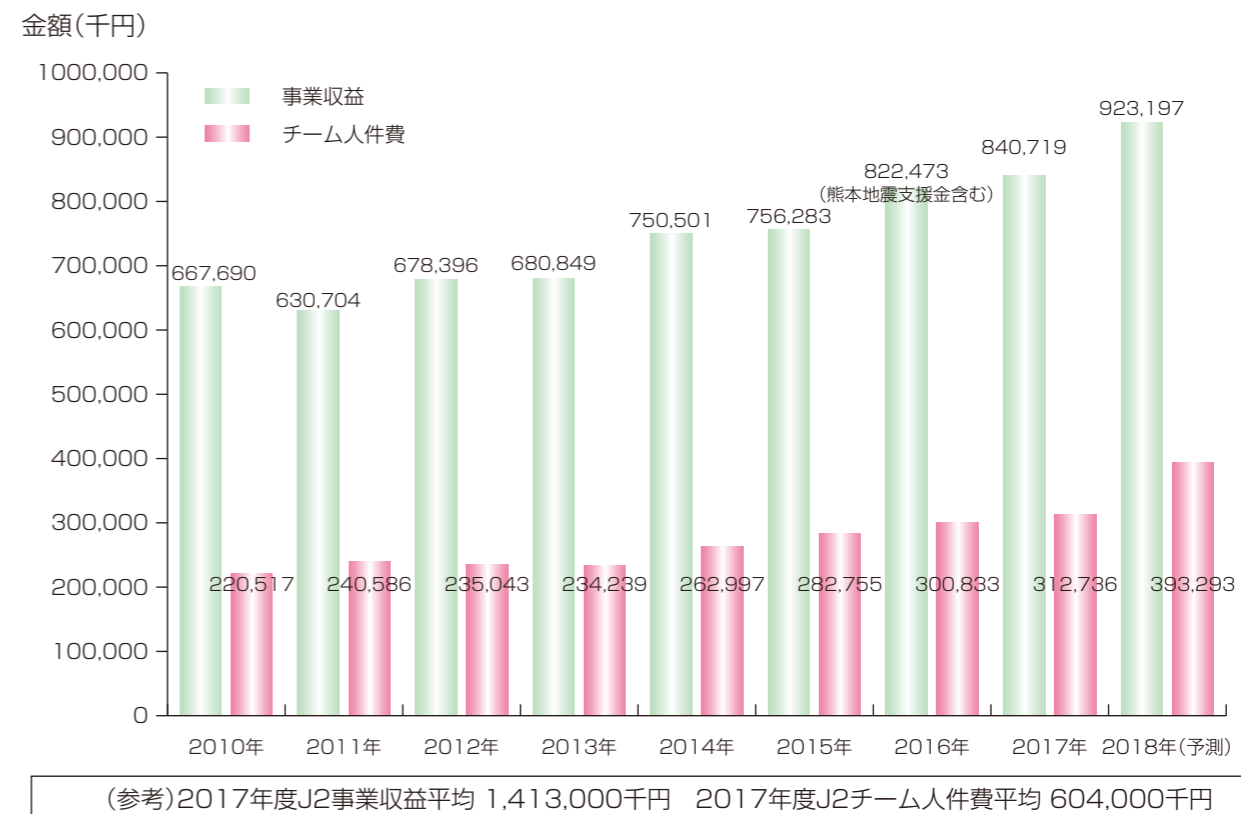


事業収益等推移

スポンサー収入とスポンサー数の推移



事業収益及びチーム人件費の推移



アカデミー(育成)

ロアッソプロジェクト

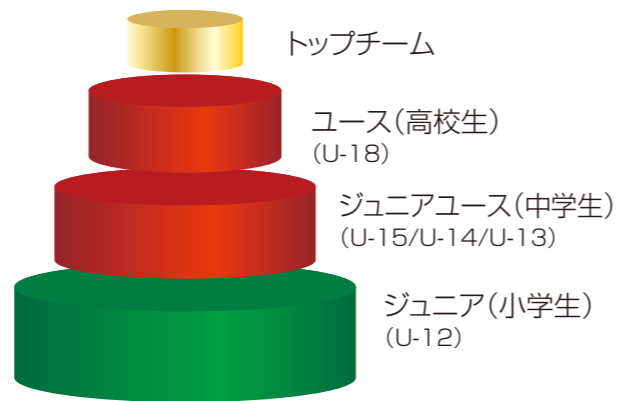
熊本県の将来の発展に貢献するべく、県民に愛され、元気を与える存在になることを理念におき、人間的にもフットボールとしても真にプロフェッショナルと呼ばれる選手の育成を実現し、トップチーム及びインターナショナルで活躍できる選手を輩出すること、青少年期において、広い視野で物事を捉えて判断できる“人間力”を育てることを目的として今後も活動してまいります。

『赤(ロアッソ)からブルー(日本代表)、ブルーから世界へ』

ロアッソ熊本アカデミーでは、人間力を育てることと、才能ある選手たちに、サッカーに必要な知識・技術・戦術・思考・スピード・フィジカルを植え付け、「ハードワークできる天才」を育てること、この2つを大きなコンセプトとして、サッカー選手としてはもちろんのこと、社会人として活躍できるタレントを熊本(ホームタウン)から送り出すことを目標に育成・指導を行ってまいります。



ジュニア(小学生)→
ジュニアユース(中学生)→
ユース(高校生)→トップチーム



赤い魂(熊本愛・郷土愛)を持った選手がこの熊本の地で躍動し、世界に羽ばたいていく日を今後も追い求めていきます。

第42回 日本クラブユースサッカー選手権U-18 2018

ロアッソ熊本ユースが九州地区予選を2位で勝ち上がり、『第42回日本クラブユースサッカー選手権U-18 2018』に九州代表として出場。

全国の強豪相手に善戦しました。



予選Hグループ

- 第1節 ロアッソ熊本ユース 1-2 FC東京U-18
- 第2節 ロアッソ熊本ユース 0-1 ジュビロ磐田U-18
- 第3節 ロアッソ熊本ユース 6-2 ツエーゲン金沢U-18



ユース・ジュニアユース・ジュニア

ユース(高校生)

所属選手 **34** 名



2018主な大会(成績)

- 高円宮杯 JFA U-18サッカーリーグ2018熊本1部 優勝
- 高円宮杯 JFA U-18サッカーリーグ2018熊本3部 優勝
- 2018年度第29回九州クラブユース U-18サッカー選手権大会 準優勝
- 第26回Jリーグユース選手権大会 ラウンド32
- 第42回日本クラブユースサッカー選手権U-18 2018 グループリーグ3位(1勝2敗)

ジュニアユース(中学生)

所属選手 **59** 名 | U-15 18名 | U-14 21名 | U-13 20名



2018主な大会(成績)

- U-15 高円宮杯 JFA U-15サッカーリーグ2018九州 12チーム中8位
KYFA 堺整形外科2018 第33回九州クラブユース(U-15)サッカー選手権 ベスト16
高円宮杯 JFA第30回全日本U-15サッカー選手権大会九州予選 ベスト8
- U-14 2018Jリーグ U-14サザンクロスリーグ 参戦中
- U-13 高円宮杯 JFA U-13サッカーリーグ2018九州 参戦中
2018年度 熊本県クラブユース U-13サッカー選手権大会 優勝

ジュニア(小学生)

所属選手 **27** 名 | U-12 17名 | U-10 10名



2018主な大会(成績)

- ダノンシェパードズカップ2018 in JAPAN 全国大会出場
- 第44回熊日学童オリンピック大会 準優勝
- 第8回スポーツゼビオカップ KFA熊本県U-10少年サッカー大会 【あ】パート準優勝
- 2018年度ナショナルトレセンU-12九州 1名選出



ホームタウン活動(地域貢献活動)

ロアッソ熊本は、「県民に元気を」「子ども達に夢を」「熊本に活力を」というクラブ理念を掲げ、「日本一地域に根差したクラブづくり」を目指し、県内各地においてホームタウン活動(地域貢献活動)を実施しました。

実施実績

地域イベント等
参加・実施回数

102回

(平成30年1月~11月)



地域イベント

県内各地で開催される地域イベントに選手・ロアッソくん・マッスルアンバサダー スガッシュが参加しています。ステージでロアッソ熊本のPRを行ったり、イベント来場者の皆様と一緒にロアッソくんサンバを踊ったりしながら、地域の皆様との交流を深めました。



※3月18日 緑川スポーツフェスタin甲佐2018 ※4月7日 人吉かいろう祭 ※6月14日 託麻原小学校夢講話 ※11月9日 1日中央消防署長

サッカー教室

県内各地で開催するサッカー教室に普及コーチや選手が参加しています。参加者のサッカー経験の有無を問わず、誰でも楽しめるサッカー教室を行いました。



※1月14日 苓北町サッカー教室 ※2月24日 御所浦町サッカー教室 ※10月8日 熊本市サッカー教室 ※10月28日 ホームゲーム前座サッカー教室

地球温暖化対策への活動

環境省が推進する温暖化に対する国民運動「COOL CHOICE」・熊本県と連携し「くまもとのBDF」普及啓発事業、この2つの活動にロアッソ熊本は賛同し、ロアッソ熊本ホームゲームにおける普及啓発活動、自治体・地域・団体・企業等との共同活動を行いました。



※ホームゲームでのCOOL CHOICE普及啓発活動 ※10月14日 COOL CHOICE CITY くまもとフェア2018 ※ホームゲームでの「くまもとのBDF」普及啓発活動 ※BDF使用開始ロアッソ熊本選手移動用バスお披露目式

火の国もりあげタイ!

ロアッソ熊本では、2014年より、活動方針である「日本一地域に根ざしたクラブづくり」の具体的な取り組みの一環として、『ロアッソ熊本“火の国もりあげタイ!”』プロジェクトを実施しています。

このプロジェクトは、ロアッソ熊本の選手達が、行政や地域住民の皆様との交流を図りながら地域の「まちづくり」や「まちおこし」の応援を行い、県民の皆様と共に熊本を盛り上げていくことを目的とした活動です。

ロアッソ熊本選手10名程度を各自自治体のロアッソ熊本“火の国もりあげタイ!”として任命し、1月~12月までの1年間、活動を行いました。

【2014シーズン実施】

八代市・山鹿市・合志市・長洲町・高森町・益城町・甲佐町・山都町・相良村・苓北町

【2015シーズン実施】

熊本市西区・玉名市・宇城市・水俣市・阿蘇市・人吉市・御船町・大津町・南関町・五木村

【2016、2017シーズン実施】

※2017シーズンは、地震の影響により実施できなかった2016シーズンと同じ市区町村での実施となりました。

熊本市北区・上天草市・和水町・産山村・嘉島町・多良木町

【2018シーズン実施】

熊本市南区・南阿蘇村・菊池市



※2018年新体制発表会での実施自治体お披露目 ※南阿蘇村表敬訪問 ※南阿蘇村担当選手のぼり贈呈



※タウンデーでの菊池市長挨拶 ※タウンデーでの熊本市南区物産ブース出展 ※ホームゲームにて火の国もりあげタイ!選手のぼりの掲出



※熊本市南区物産館への担当選手訪問 ※南阿蘇村道の駅への担当選手訪問 ※菊池市担当選手とのふれあい交流会



「平成28年熊本地震」復興支援活動

ロアッソ熊本では、2016年4月の「平成28年熊本地震」直後から、選手を中心とした様々な震災復興支援活動を行い、2018年も継続して、震災復興に向けた支援活動を県内各地で行いました。



※3月4日 熊本地震復興支援富合小学校選手訪問



※3月17日 熊本地震復興支援選手とふれあい交流会



※4月15日 JリーグOB復興支援サッカー教室



※4月15日 熊本地震復興支援マッチ開催



※5月13日 くまもと復興祭



※9月9日 復興祈念ロアッソ熊本ファン感謝祭in熊本市動植物園



アカデミーの普及・拡大

サッカースクール・おとなのサッカー教室 キッズキャラバン 幼稚園・保育園巡回指導

サッカーを通じて「遊ぶ・学ぶ・創る」のテーマ(スクール理念)を身につけさせる環境づくりを目的としています。またJリーグチームにしかできないスクール指導と環境から、夢を持つことの大切さを伝えていくことを心掛けています。未来を担う子ども達にサッカーの持つ楽しさを知ってもらいます。その中で、サッカーのみならず身体を動かすことを通じてスポーツへの愛着を芽生えさせ、心身ともに健全な発達教育の促進を目指し、ロアッソ熊本の目的でもある「生涯スポーツの普及」に今後も努めていきます。

実施実績 **197**人
サッカースクール

2018年4月よりサッカースクール部門ではブレイズ熊本、アルバランシア熊本、ソレッソ熊本、アスフィーダ熊本と業務提携を結ぶ運びとなりました。4クラブと連携し、これまでロアッソ熊本が熊本市中央区と東区を中心に行ってきたサッカースクールを範囲を広げて10会場11コースで展開しました。



※サッカースクール



※サッカースクール



※おとなのサッカー教室

実施実績 **42**園
キッズキャラバン
(平成30年2月~11月)



※キッズキャラバン



※キッズキャラバン



※キッズキャラバン

時代と環境に向き合いながら育てるクラブを目指して



ロアッソ熊本ではクラブ設立以来、県内全域でスポーツ・サッカーの普及、熊本市を拠点としたアカデミーチームでの選手育成活動に取り組んでいます。

スポーツ、サッカーの楽しさを伝えるサッカー教室、熱心にサッカーに取り組んでいる子ども達の技術向上を目的としたサッカー教室など行政、総合型地域スポーツクラブ、地域スポーツ団体の方々と連携し、各地域にアカデミーコーチ、トップチーム選手を派遣しあらゆる年代を対象に指導を行うことで、県内の生涯スポーツの普及、競技力の発展を目指しています。こうした活動を通し幼少期に交流した子ども達が、サッカーへの熱い想いを育みプロサッカー選手を目指してロアッソ熊本アカデミーチームに加入するケースもあり、ロアッソ熊本設立以来長い年月を経て普及から育成への一つの形が構築されつつあります。



天草郡苓北町サッカー教室



天草市御所浦町サッカー教室



菊池市サッカー教室

しかし活動を進める中で、地域が抱える課題にも直面しています。熊本県内では小中学校ともに少子化の影響により部活動の存続が難しく休部・廃部となる地域があることや、教職員の働き方改革等の問題で、小学校運動部活動は社会体育に移行することが決定しています。社会体育移行後の指導者確保などの運営形態を行政、地域が一体となり対応に取り組んでおり、今後、県内の小学校、中学校年代のスポーツ環境が大きく変化していきます。

これまでロアッソ熊本の選手育成は熊本市内でのアカデミーチーム活動が主体でした。今後は多様に変化していく県内のサッカー環境に応じ、地域と連携した選手育成事業を各地域でも展開していきます。サッカーに熱意を注ぐ地域全体の子ども達の受け皿としてプロに繋がるロアッソ熊本のジュニアユースチームの設立、指導者の定期派遣など、行政や地域全体と協力しながら地域の社会課題の解決、同時にサッカーを通じた地域の発展に取り組んで参ります。



ロアッソ熊本阿蘇・ジュニアユースサッカー教室in高森



ロアッソ熊本阿蘇・ジュニアユースサッカー教室in小国

「ロアッソ熊本火の国もりあげタイ！」事業などで築いてきた県内各地域との連携を活かし行政、地元企業や住民、地域一体となって、サッカーを通して関わる県内のあらゆる地域・年代の子ども達が地元で自分の夢にひたむきに取り組める環境を整えていきます。

「どこでも夢に向き合える」環境を創出し地元への愛着、矜持の心を持った子ども達を育て、未来のロアッソ熊本で活躍する子ども達を地域の方々とともに応援することで地域活性化を図り「県民に元気を」「子ども達に夢を」「熊本に活力を」というロアッソ熊本の理念を追求していきます。

チーム沿革



2004年
 9月 「熊本にJリーグチームを」県民運動推進本部設立
 12月 熊本の総合的なスポーツクラブとして地域密着のコミュニティー創りの発展に寄与することを目的に、(株)アスリートクラブ熊本を設立

2005年
 2月 「ロッソ熊本」始動、監督に池谷友良氏招聘
 4月 第33回九州サッカーリーグ参戦
 9月 第9回NHK杯(天皇杯熊本県予選)優勝
 10月 第33回九州サッカーリーグ優勝 第41回全国社会人サッカー選手権大会優勝
 12月 第29回全国地域リーグ決勝大会3位 **日本フットボールリーグ(JFL)昇格**

2006年
 3月 第8回 JFL参戦
 8月 **日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)準加盟クラブ承認(全国第1号)**
 9月 第10回NHK杯(天皇杯熊本県予選)優勝
 10月 第86回天皇杯3回戦敗退
 12月 JFL5位の成績でJリーグ参入を逃す

2007年
 3月 第9回 JFL参戦
 9月 第11回 NHK杯(天皇杯熊本県予選)優勝
 10月 第87回天皇杯1回戦敗退
 12月 JFL準優勝
 12月3日 **翌年よりのJリーグ参入正式決定**



Jリーグ参入を果たす

2008年
 3月 Jリーグディヴィジョン2(J2)参入
 10月 第88回天皇杯3回戦敗退
 12月 12位(15チーム中)でシーズン終了

2009年
 3月 J2リーグ2年目のシーズン
 9月 第89回天皇杯2回戦敗退
 12月 14位(18チーム中)でシーズン終了

2010年
 3月 J2リーグ3年目のシーズン
 10月 第90回天皇杯3回戦敗退
 12月 7位(19チーム中)でシーズン終了

2011年
 3月 J2リーグ4年目のシーズン
 10月 第91回天皇杯2回戦敗退
 12月 11位(20チーム中)でシーズン終了

2012年
 3月 J2リーグ5年目のシーズン
 4月 熊本県民総合運動公園内のスポーツ交流館をクラブハウスとして供用開始
 11月 14位(22チーム中)でシーズン終了
 12月 第92回天皇杯 ベスト16入り



スポーツ交流館落成式(2012年3月)

2013年
 3月 J2リーグ6年目のシーズン
 10月 第93回天皇杯3回戦敗退
 11月 19位(22チーム中)でシーズン終了

2014年
 3月 J2リーグ7年目のシーズン
 7月 第94回天皇杯2回戦敗退
 11月 13位(22チーム中)でシーズン終了

2015年
 3月 J2リーグ8年目のシーズン
 10月 第95回天皇杯3回戦敗退
 11月 13位(22チーム中)でシーズン終了

2016年
 2月 J2リーグ9年目のシーズン
 4月 熊本地震発生
 5月 震災により、うまかな・よかなスタジアムが使用できないため、日立柏サッカー場(千葉)、ノエビアスタジアム神戸(兵庫)にてホームゲーム開催
 6月 ベストアメニティスタジアム(佐賀)にてホームゲーム開催
 7月 震災後初めて、うまかな・よかなスタジアムにてホームゲーム開催



震災後初めてのうまスタ開催

9月 第96回 天皇杯2回戦敗退
 11月 16位(22チーム中)でシーズン終了

2017年
 2月 Jリーグ10年目のシーズン
 7月 第97回天皇杯3回戦敗退
 11月 21位(22チーム中)でシーズン終了

2018年
 2月 Jリーグ11年目のシーズン
 5月 震災後初めて 熊本市水前寺競技場にてホームゲーム開催



6月 第98回天皇杯2回戦敗退
 11月 21位(22チーム中)でシーズン終了